



「リサーチセミナー」を開催しました

6月6日(土)に、理数科1年生を対象に、第1回「リサーチセミナー」を実施しました。佐賀大学 理工学部 理工学科 電気電子工学部門 和久屋寛先生に、「人工知能を取り巻く過去・現在・未来について ～2020年夏に考える～」と題して、遺伝的アルゴリズムを用いた鹿島市における避難経路探索についての研究の事例紹介など、研究課題の見出し方や解決方法について話していただきました。



生徒の感想

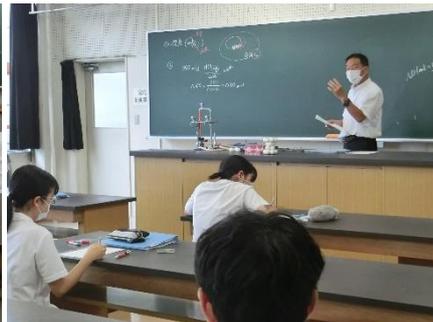
- 「電子工学の分野が生物分野の進化論と結び付けられ考えられることもあるのに驚いた。研究をしていく上で、さまざまな分野どうして協力することが大切だと思った。また、誰も知らないことに挑戦することに研究の面白さの本質があると感じた。」
- 「地図だけを見て研究するよりも、現地に行って、その地域の人に聞いて研究を行うほうがよいと先生はおっしゃっていました。自分もネットや本に載っている情報をうのみにせず、実際に自分で実験をして、その情報が確かなものか調べて、よりよい研究に取り組みたいと思った。」
- 「一つの絞ったところに目を向け、まず課題を見つけ、その課題を解決したときに出てきた課題をさらに調べ、解決するということを繰り返すことで、その問題を解決しようとしていたと思います。」
- 「多角的な視野をもって観察することがこんなに難しいことであると知りませんでした。これから課題研究を行うときは、自分では思いつかないような他の意見も取り入れながらより良いものにしていきたいと思いました。」

科目「SSH研究I」で「基礎実験演習」を実施しています

理数科1年生は、2年次の課題研究に向けたプレ学習の一環として、科目「SSH研究I」で「基礎実験演習」に取り組んでいます。内容は、物理・化学・生物の各分野における実験器具の扱い方やデータ収集・統計処理の方法についての演習です。この単元で身に付けた知識や技能を2年次の課題研究に活かしてほしいと思います。



「データ処理と誤差」(貫松先生)



「滴定実験のための基礎知識」(嘉村先生)



「無菌操作と培地づくり」(小野先生)



「自由落下・電気抵抗の実験」(木村先生)



「滴定実験の基礎操作」(遠藤先生)



「細胞の観察と測定」(平湯先生)